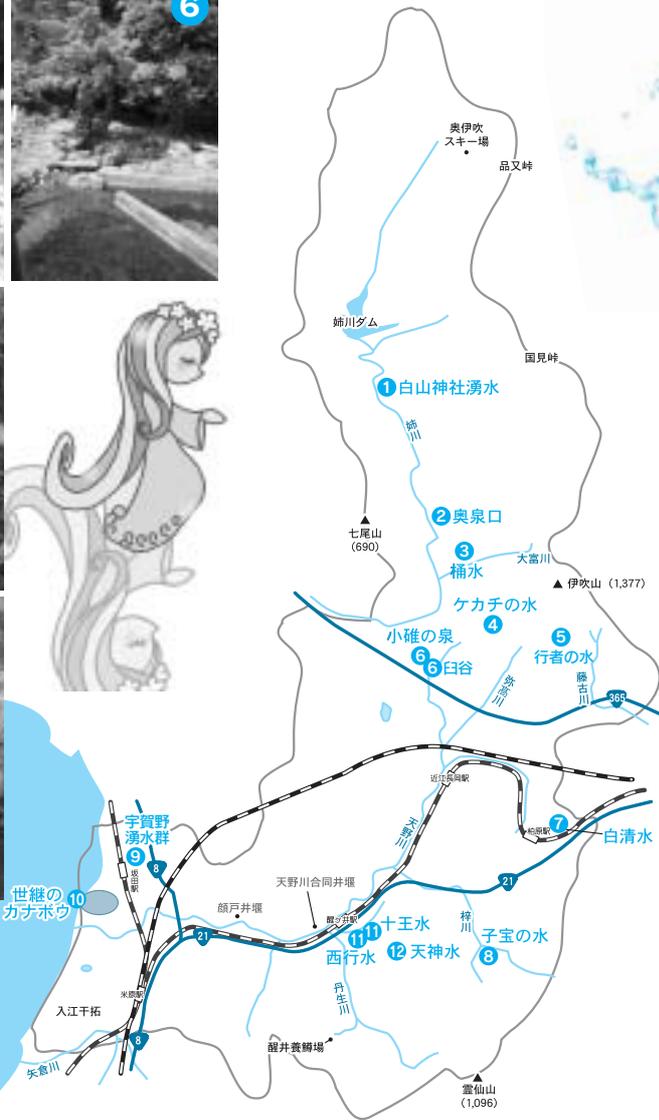


『未来に伝えたい まいばらの水』に 12箇所を選定!!



上水道が普及するまでの社会は、地域の湧水や地下水、河川水などが生活全般に利用され、水と地域の暮らしは密接なつながりを持ち、水の恵みや脅威も肌で感じることができていました。そこで、ありとあらゆる地球上の生命の源である「水」と、私たちの暮らしを再び結びつけ、身近な水やそれを取り巻く自然環境を多くの方知っていただき、水源の里まいばらの美しい水環境を未来に受け継いでいこうと、「未来に伝えたい」まいばらの水「」を選定しました。

“未来に伝えたい
まいばらの水”

- ① 白山神社湧水(曲谷)
- ② 奥泉口(小泉)
- ③ 桶水(小泉)
- ④ ケカチの水(上野)
- ⑤ 行者の水(弥高)
- ⑥ 白谷・小碓谷の湧水
(春照・間田)
- ⑦ 白清水(柏原)
- ⑧ 子宝の水(梓河内)
- ⑨ 宇賀野湧水群(宇賀野)
- ⑩ 世継のカナボウ(世継)
- ⑪ 十王水と西行水(醒井)
- ⑫ 天神水(枝折)

「まいばらの水」 選定にあたって

《選定のポイント》

- ★景観的価値、自然環境としての価値
- ★地域との関わりや水文化としての価値
- ★歴史的な価値

この3つのポイントを基準として、市民のみなさんからの応募状況などを考慮し、有識者と市民で構成される選定委員会において選定を行いました。全体の数が多いことや、湧水以外の水については応募が少なかったことなどから、今回は特に「湧水」に絞って選定を行っています。

また、選定されなかった水についても、今後の地域での取り組みの状況などにより追加で選定するともに、滝などについても選定していく予定をしています。

これらの水を中心とした水環境の保全と継承、水を生かしたまちづくりを市民のみなさんとともに進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

選定委員会委員長

から一言

米原市は琵琶湖の源流地域として、豊かな水に恵まれ、水にまつわる伝承があちらこちらに残されています。また、豊かで清涼な水を暮らしに生かしてきただけでなく、それが潤いのある景観と環境をつくりだしています。

このすばらしい「まいばらの水」の価値を再確認し、将来の世代に残し、伝えていくことが私たちの世代の責任です。今回選定したものは米原のすばらしい水の一部ですが、これをきっかけに米原の水資産の価値を再認識し、まちづくりの中で位置付け、将来に伝えていくことを期待しています。



まいばらの水選定委員会委員長
仁連孝昭氏
(滋賀県立大学理事・副学長)

出前講座・新メニュー 『水源の里』

まいばらの水のお話 随時受付中!!

平成23年度に実施した水環境調査の結果をもとに、地域の暮らしや自然について、受講者のみなさんと見つけ直す機会として、出前講座を開講しました。

講座では、市内の湧き水や河川など水の映像とともに心地よいピアノの音色を聞きながら、まいばらの水について五感を使って考えてみましょう。

この出前講座は自治会や市民団体、学校等の団体でお申し込みいただけます。まずは、環境保全課までご相談ください。

水環境報告書冊子をご活用ください

水環境調査の結果をまとめた冊子「スローウォーターな暮らし」ができました。

調査により明らかになった250を超える地域の湧き水や滝の紹介、地形と水、農業水利、生活用水、水神信仰、水争い、水力発電など、あらゆる視点から水と地域との関わりについて分析し、まとめたものになっています。

冊子は各庁舎や市内図書館等でご覧いただけるほか、市公式ウェブサイトにも掲載しています。

